



人間国宝

松井康成と

原清展

茨城県陶芸美術館 IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM

左 松井康成 ねりあげしょうれつあかねでつば 練上嘯裂茜手壺 1982年 (茨城県陶芸美術館蔵)
右 原清 てつゆうまもんおおつば 鉄釉馬文大壺 2005年 (茨城県陶芸美術館蔵)

茨城県陶芸美術館は、寄居町在住の人間国宝である陶芸家・原清の作品を数多く所蔵しています。

原清は、黒釉と褐色釉とをおおらかなフォームに重ね掛けする「鉄釉陶器」を中心に、美しく青みがかった釉調を見せる「鈞窯」や翡翠に似た発色をする「翠釉」など、幅広い作風を展開しています。また、代名詞ともいえる馬文の大壺や大鉢をはじめ、風に揺らぐ草花など、自然を題材としたものが多く、原清の自然への愛着を感じさせます。

この展覧会では、同じく人間国宝であり、練上技法を中心に独自の表現を展開した松井康成の作品と合わせて約110点を展示し、2人の人間国宝それぞれが到達した美の形について掘り下げます。 (本文中敬称略)

- ▶ 期間／10月31日(土)～令和3年3月21日(日)
- ▶ 開館時間／午前9時30分～午後5時 (入館4時30分まで)
- ▶ 休館日／毎週月曜日 (11月2日、11月23日、1月11日は開館)、11月4日、11月24日、1月12日、年末年始(12月28日～1月1日)
- ▶ 場所／茨城県陶芸美術館
茨城県笠間市笠間2345
(笠間芸術の森公園内)
- ▶ 観覧料／一般520(420)円、満70歳以上260(210)円、高校・大学生370(320)円、小・中学生210(160)円
※ () 内は20人以上の団体料金、土曜日は高校生以下無料 (ただし、長期休業日に当たるときを除く)。
※10月31日、2月27日は70歳以上の方無料

原清作品 (茨城県陶芸美術館蔵)



てつゆうまもんおおつば 鉄釉馬文大壺 (2005年)



きんようはっかくばら 鈞窯八角鉢 (1972-1973年)



てつゆうまもんおおつば 鉄釉馬文大壺 (1995年)



すいじこくもんこうろ 翠磁刻文香炉 (1993年)

寄居町役場1階ロビーにも原清氏の作品が展示されています。

☎ 茨城県陶芸美術館 ☎ 0296・70・0011